

シリーズ「職場での新型コロナウイルス感染症対策」

(その9) 会食

「職場から会食の自粛を要請されている」という労働者の声がよく聞かれますが、どんな人とどんな会食するのが感染リスクが高いのか、会食以外のイベントの感染リスクはどうか、考えてみました。

共に会食をする人として、

- (1)同居している家族
- (2)よく顔を合わせる同僚や友人
- (3)遠く離れている実家や親戚

の3種類に分けます。

(1)同居している家族については、

家で食事をするのも、ホテルのレストランで食事をするのも、感染リスクはあまり変わりませんが、同居している家族以外の方と会食するのに準じて会食するのが望ましいでしょう。

(1)同居している家族**以外**の会食は、

黙食(もはや会食ではないでしょう)やマスク会食(しゃべるときはマスクをつける)をきっちりと守らない限りは、感染リスクが高いといえます。

また、アルコールを飲んだり長時間に及んだりすれば、感染リスクが高まります。

(3)遠く離れている実家や親戚の方が、

(2)よく顔を合わせる同僚や友人よりも会食したときの感染リスクが高くなります。

特に遠く離れている実家への帰省は、

職場によっては自粛を要請されても妥当と考えられるくらい感染リスクの高い行動です。

そのため県内でも、

年始の成人式が暑くなる頃まで延期になったり、中止になったり、

特定の地域からの参加について自粛が要請されたり、オンライン方式となったりしました。



会食ではなく、

野外や、マスクを外すことがないイベントでは、会食よりも感染リスクは低くなります。

ただし、長時間に及んだり、密接したりする場合は、感染リスクが高まります。